

くらし支援センターでんでん虫(ホームヘルパー派遣事業)の出前講座実施

くらし支援センターでんでん虫の定期職員研修

日時 11月25日(金)午後6時30分～8時30分

会場 源の湯(東久留米駅近くの銭湯2階)

内容 応急手当全般(主はAEDを使った心肺蘇生法)

受講者 9名(主ホームヘルパー)

指導者 川島、岸川、佐藤、須藤、田村

準備品 成人人形2体、AEDトレーナー2個、三角巾30本

キューマスク(心肺蘇生法を行うときの感染予防製品)を受講者全員に無料進呈、これを使って実技を行った。

毎年行っている事業で高齢者に起きやすい事故に対する応急手当(心肺蘇生法、止血法、包帯法、異物の除去法、やけど、体位の管理法、搬送法)の実技講習です。今年は参加者が少なかったので、1人に掛ける時間が沢山取れ、2分間の人工呼吸2回と胸骨圧迫30回の繰り返しを5サイクルするとAEDから次に行う指示が出て心電図を測り次にどうするかの指示が出ることになっていることを体験してもらいました。普段時間がないためここまですることはできず省略していることが多い、心肺蘇生法を十二分に理解してもらうことは叶いませんでしたが今日は充分理解してもらいました。終了後受講者から今日は丁寧な指導で完全に理解できたと喜ばれました。

また、幼児の人形を当会が所有していることを知り、来年は幼児の心肺蘇生法を加えて欲しいと要望もされました。その他の止血法、やけど、異物の除去法、体位の管理法、搬送法、包帯法なども沢山のバリエーションを行うことができました。

左記写真 応急手当の目的、必要性、カーラーの救命曲線、救命の連鎖等の説明をしているところ



心肺蘇生法で反応の確認をしているところ 心肺蘇生法でAEDのパッドを貼っているところ 三箇所に分かれてスタートしました



止血法の手の間接圧迫法をしているところ 止血法の足の間接圧迫法をしているところ 異物の除去法の背部叩打法をしているところ



異物の除去法のハイムリック法をしているところ

搬送法の一人法

包帯法の手のつり